

2005年1月18日23時09分の釧路沖の地震について

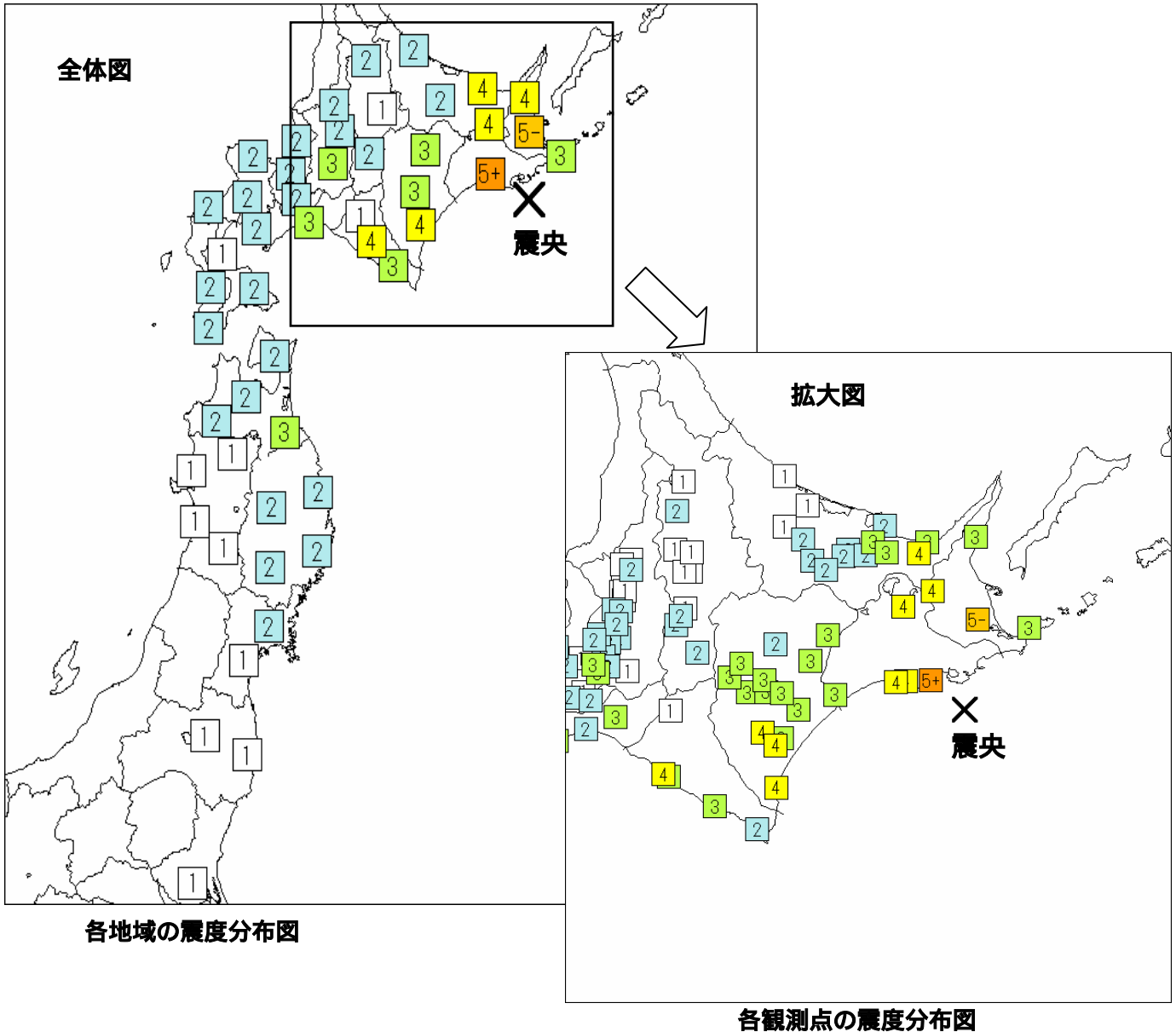
1月18日23時09分頃、釧路沖の深さ約50kmでM6.4（暫定値）の地震がありました。この地震により、北海道の厚岸町で震度5強、別海町で震度5弱を観測したほか、北海道・東北地方を中心に、関東地方の一部にかけて震度1～4を観測しました。この地震による津波の心配はありません。

19日00時30分現在、震度1以上を観測する余震は発生していません。

この地震の発震機構は、北西-南東に圧力軸を持つ逆断層型です。

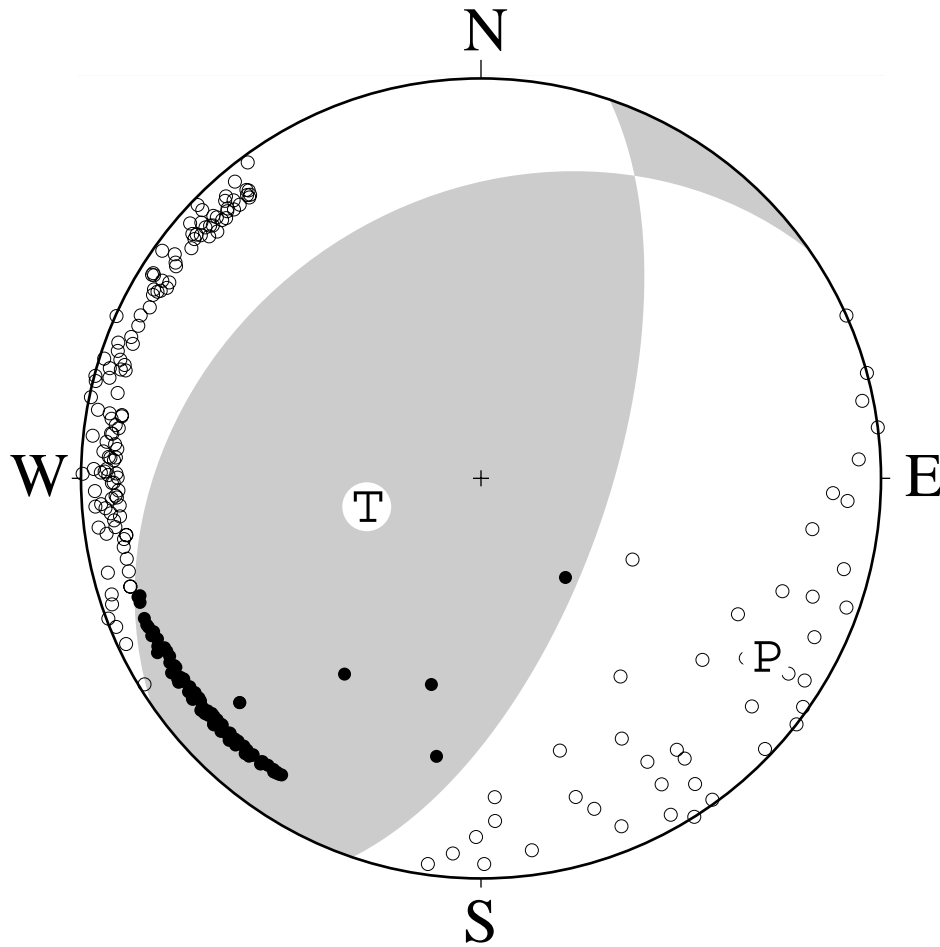
この周辺域では、2004年11月29日にM7.1の地震（深さ48km、最大震度5強、負傷者51名、住家一部破損3棟の被害等）が発生しており、2004年12月6日には、この地震の余震である、M6.9の地震（深さ46km、最大震度5強、負傷者3名等）が発生しています。

今回の地震も2004年11月29日の地震の余震と考えられます。



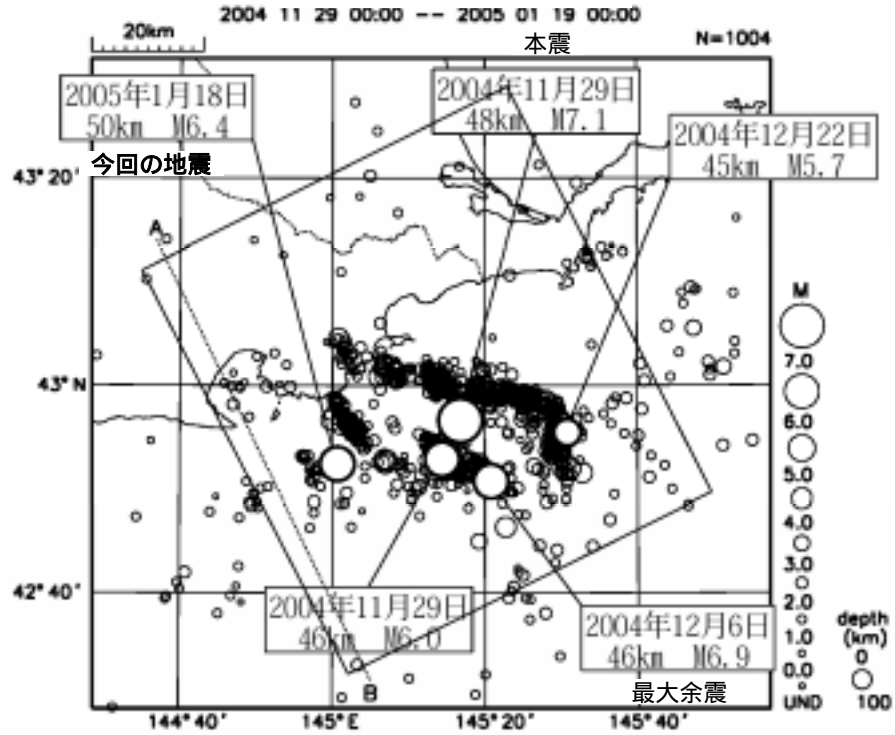
初動発震機構解 (暫定)

2005/01/18 23:09:06.6

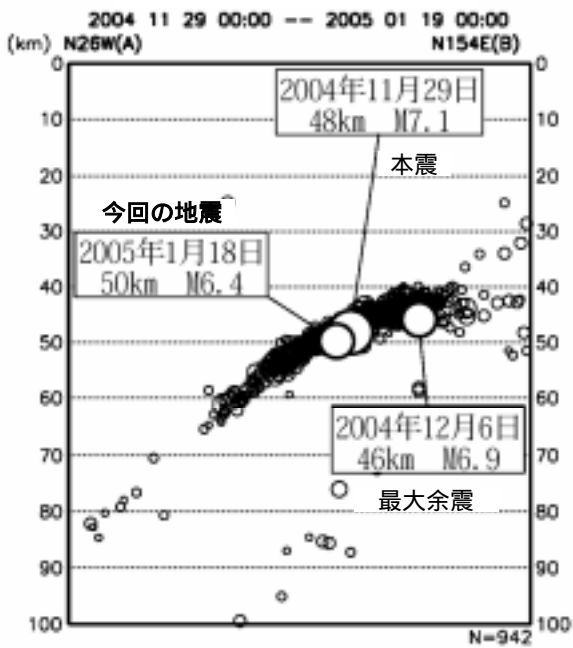


(下半球等積投影)

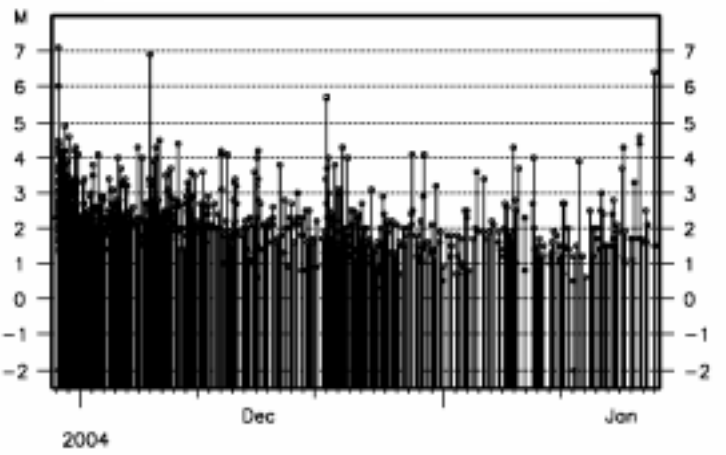
震央分布図



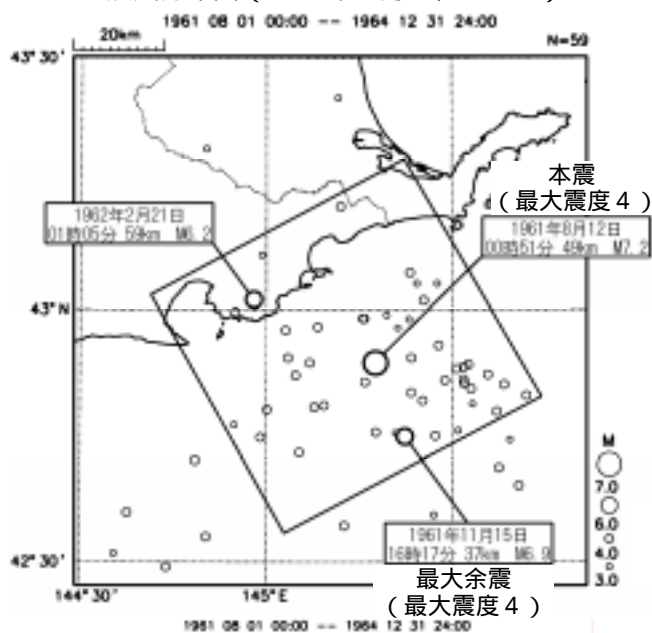
断面図 (AB 方向)



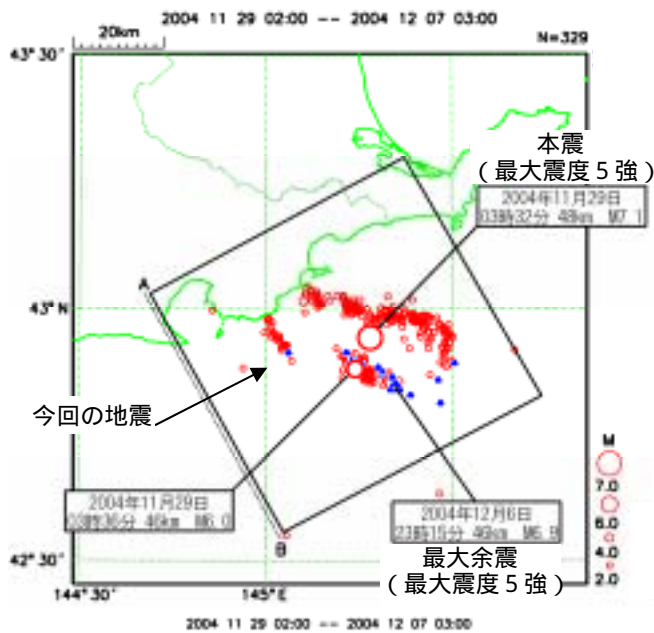
地震活動経過図 (規模別: M 全て)



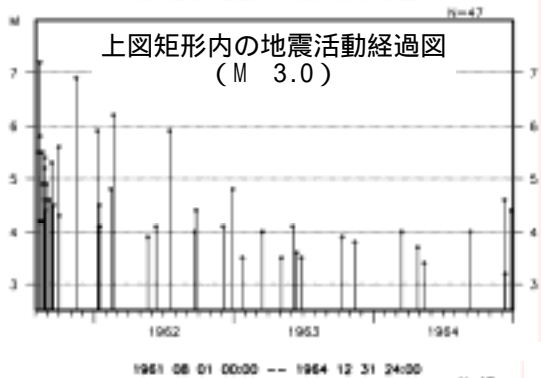
震央分布図 (1961年8月~、M 3.0)



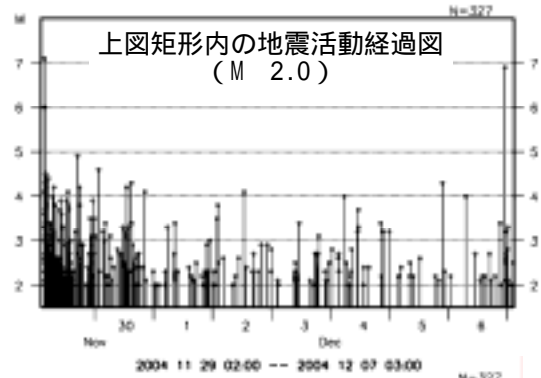
震央分布図 (2004年11月29日02時~、M 2.0)



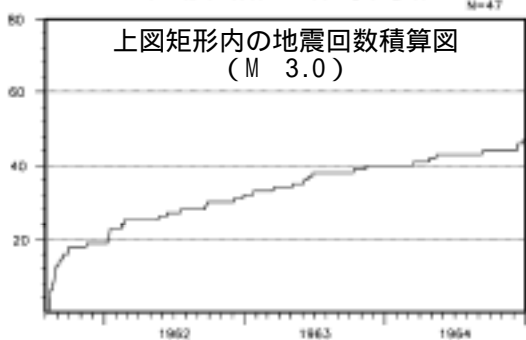
上図矩形内の地震活動経過図 (M 3.0)



上図矩形内の地震活動経過図 (M 2.0)



上図矩形内の地震回数積算図 (M 3.0)



上図矩形内の地震回数積算図 (M 2.0)

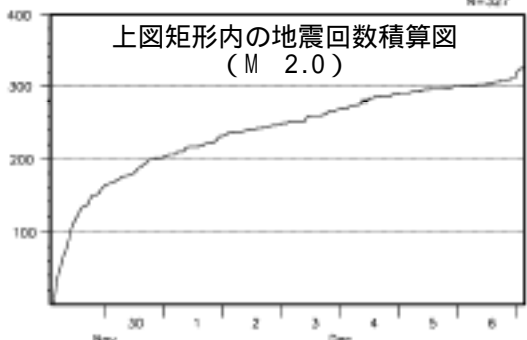


図6-4 地震活動比較

左: 1961年8月12日の地震 (上図: 震央分布図 [M3.0以上、深さ80km以浅] 中図: 地震活動経過図 [M3.0以上] 下図: 地震回数積算図 [M3.0以上])

右: 2004年11月29日の地震 (上図: 震央分布図 [M2.0以上、深さ80km以浅] 中図: 地震活動経過図 [M2.0以上] 下図: 地震回数積算図 [M2.0以上])

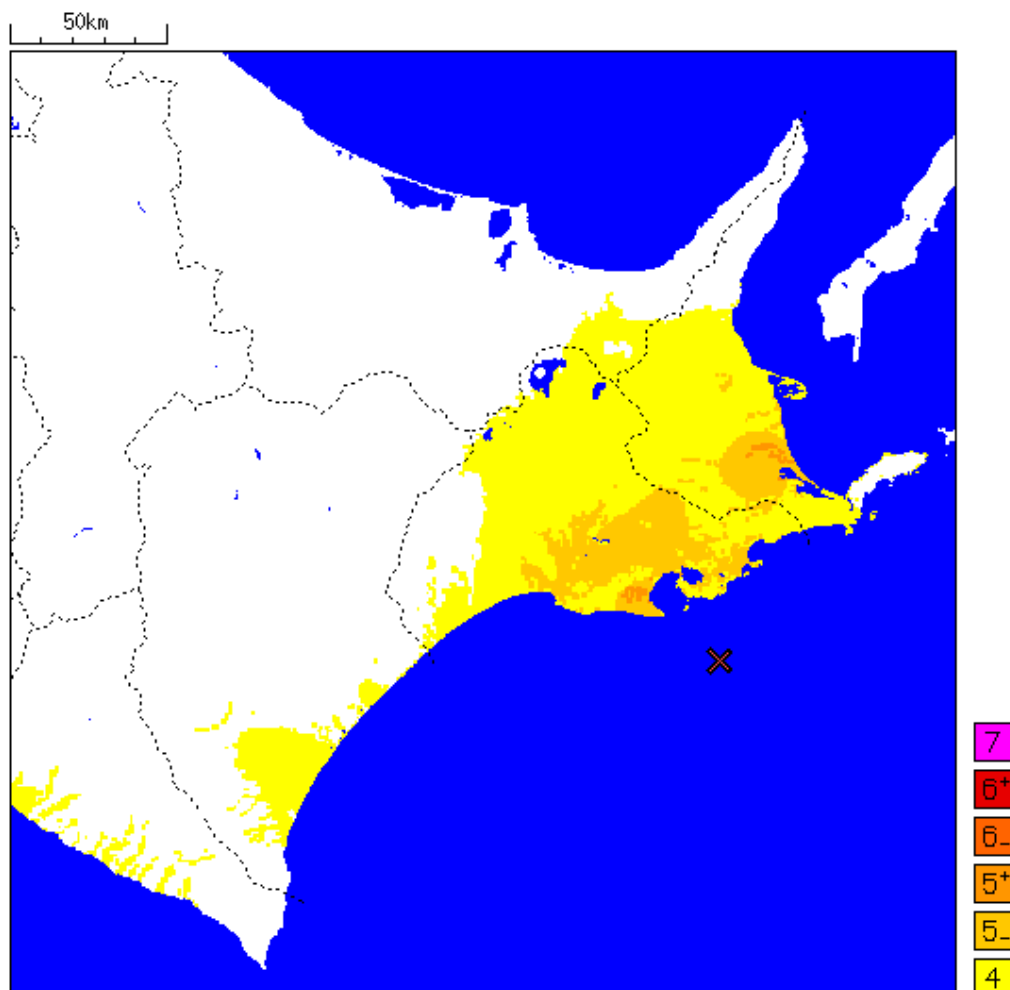
2004年11月29日03時32分に釧路沖の深さ48kmでM7.1 (最大震度5強) の地震が発生した。その1週間後の12月6日23時15分には南南東約10kmでM6.9 (最大震度5強) の最大余震が発生した。

約40年前の1961年8月12日にも、今回の地震とほぼ同じ場所でM7.2 (最大震度4) の地震が発生し、約3ヶ月後の11月15日には南南東約20kmでM6.9の最大余震が発生した。

なお、1961年の本震の約半年後には、北西約30kmの内陸側でM6.2 (最大震度4) の余震が起きている。

2005年1月18日23時09分頃

釧路沖の地震（M6.4 深さ50km）の推計震度分布図



〔解説〕

この地震により、北海道の釧路、根室支庁を中心に5弱の地域が広がっており、震度5強を観測した厚岸町、及び別海町の地盤が軟弱な一部で5強の分布が見られます。

なお、これらの地域では、物が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害の発生した可能性があります。

<推計震度分布図利用の留意事項>

個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。